



立春(2月4日)を迎え、暦の上では春となり日が長くなってきましたが、まだまだ寒い日が続いています。全国的にインフルエンザの流行が心配されています。ウイルスの体内侵入を防ぐためには、手洗いやうがいをしっかり行うことが大切です。また、体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日頃から心がけていきましょう。

2月は3年生にとっては進路決定にかかわる重要な一カ月です。2月10日(火)から県内私立高校の一般入試が始まり、17日(火)からは県内公立高校の学力検査や面接試験等が行われます。3年生一人ひとりがしっかりと自分の力で自分の道を切り拓けるよう応援しています。

第2学年 立志式【1月22日(木)】

本校の伝統的な学校行事に立志式があります。昔の成人と同じ年齢になったこと(元服)を機会に、「子どもから大人へ心が成長する節目」として、自分の将来や生き方について考え、「志」を立てることを目的とした式典です。2年生全員が「志」を書き留めた作文は、「20歳の集い」のときに返却されます。また、昨年度に引き続き、本校の卒業生である俳優の渋谷謙人さんにご講演いただき、温かい励ましの言葉をいただきました。



<代表生徒の発表より>

- 数えきれないほど多くの方が私に尽くしてくれたのに、私はまだ何も返せていません。今できるのは自分らしく生きること。人からもらった多くのことを糧に、私は輝きます。それこそが、人にも自分にも一生をかけて返せる「感謝」なのです。
- 私の夢はたくさんの人を笑顔にすること。どんなに面白い話をして、どんなに感謝しても話す人の笑顔がなかったら誰の心にも響かないし、聞いている人も笑顔にならないと思います。これからも笑顔を決やさずたくさんの人に「笑顔の魔法」を使って笑顔にしていきたい。

講演 俳優 渋谷 謙人さん

講演のお話をいただいたときに、「生きていく上で一番大切なことは感謝の気持ちだよ」と伝えるつもりだったが、生徒の皆さんが感謝の気持ちを書いた作文を発表されていて、とても素敵だなと思った。僕が中学生の時には気付いていなかった。



自分も立志式の作文を書いた。「俳優になりたい」と書いた記憶があるが、当時は意味をあまり深く考えていなかった。小学校3年生のとき、テレビ番組を見て俳優になりたいと思うようになって劇団に入った。子役から始めて30年。でも夢を追いかけるために俳優業を頑張ってきたわけではない。お芝居の仕事が好きでやってきただけ。やりたいお芝居の仕事を最優先でやってきただけ。



今は「豊臣兄弟!」の撮影で毎日忙しいそうです

「夢や目標は持った方がいい」と思う?そう考える理由は何かな?僕は大切な友人や後輩には「夢や目標は、あった方が人生が豊かになるよ」と伝えている。たとえ夢や目標が叶わなくても、新しい夢が見えてくることもあるから。それから夢や目標がなくてもいいよ。一步踏み出したら、夢や目標が見えてくることもある。好きなこと、興味があることに熱中してみたらどうだろう。きっと世界が広がっていくと思うよ。

湘光生の活躍

○第77回川本杯チームレース大会

女子団体の部	第3位	さん・	さん・	さん
男子団体の部	第1位	さん・	さん・	さん
男子個人の部	第1位	さん	第2位	さん
			第8位	さん

○ひょうたん作品展示会

ひょうたんアンバサダー賞（アーティスト賞） さん

令和8年度の主な学校行事

始業式 4月 6日（月）午前
入学式 4月 7日（火）午後
修学旅行 5月 12日（火）～14日（木）
体育祭 5月 28日（木）

雨天の場合は 29日（金）

※詳細は4月にお知らせします。

* 大井町芸術鑑賞会【2月1日】

陸上自衛隊富士学校音楽隊とともに吹奏楽部が参加し、大迫力の素晴らしい演奏を披露しました！



避難訓練（火災発生）【1月19日（月）】

今年度3回目の避難訓練は、突然の災害発生時でも適切に判断し、対応する力を養うため、生徒には事前に予告せずに実施しました。「5時間目の授業時間に調理室で火災が発生した」という想定で、普段通りの授業中にいきなり火災報知器の大きなベルが鳴り響いたため驚く生徒も多く、緊張感のある訓練となりました。

＜生徒の振り返りから＞

- 放送で「訓練」と言われるまで「何が起こったんだろう」とパニックになりかけた。訓練の大切さに改めて気づいた。
- 今回の訓練ではハンカチで口をふさぐことができなかった。自分の命は自分で守るという意識を持つようにしたい。
- 落ち着いて行動することが一番大事だと感じた。避難経路の確認など、日頃からの準備と心構えが大事である。



教職員も教頭先生を中心に、火災報知機の操作確認や、消防署・警備会社との連絡方法の訓練を併せて行いました。

【校長室の窓から ～教え子との再会～】

「よう、謙人。久しぶり！」「野地先生、変わらないね」「そんなことはないよ。髪の毛は少なくなっただけ。謙人はすごく大人になったな」 立志式前に講師の渋谷謙人さんの楽屋に挨拶に伺ったときの会話です。渋谷さんは湘光中出身ですが、在学中の3年間、理科を教えていたのが私でした。22年ぶりの再会でしたが思い出話が止まりませんでした。「今度さ、今田美桜に会ったらサインもらってきてよ」「やっぱり先生は変わらないね。22年前は木村佳乃のサインもらって来いって言ってたじゃん。でも、先生に役者だって認められた気がしてうれしかったんだよね」 渋谷さんは大きく成長されているのに自分は相変わらずだなあと少し反省。

思い起こせば4月の入学式の後、「先生、俺のこと覚えてる？」「私のこと気づいてないでしょ」と言いながら校長室を訪れてくれた新入生の保護者となった教え子。学校行事や教育相談のついで（？）に声を掛けてくれる教え子。4月に着任してからたくさんの、かつての教え子だった保護者の方と再開しました。大変失礼な言い方ではありますが、「本当に大人になったなあ。しっかり親としても頑張ってるなあ」としみじみ感じるのが少なくありません。

3月になると毎年、卒業生が巣立ちます。子どもの成長を見守ることができる教員という職業はステキだなあと感じています。湘光生の今後の活躍が、老後の楽しみになりそうです。